

平成 31（2019）年度 川西市立久代小学校教育目標

1. 学校教育目標

ふるさとを愛し、こころ豊かでたくましく、自ら学ぶ子どもの育成
～ともに生き、ともに学び、ともに伸びよう～

めざす子ども像…知・徳・体の調和のとれた子ども

- 進んで学び、よく考え、自分の言葉で表現する子ども
- 思いやりがあり、仲良く協力できる子ども
- 心身ともに健康で、元気でたくましい子ども

めざす学校像…子どもが安心して学び、生き生きと活動する学校

- 子どもの学びが深まり、広がる学校
- 一人ひとりが尊重され、持ち味が発揮される学校
- 保護者・地域から信頼され、開かれた学校

めざす教職員像…認め、褒め、励まし、伸ばす教職員

- 魅力ある授業を常に追求し、自己研鑽に努める教職員
- 豊かな人間性と温かい教育的愛情を持った教職員
- チームを意識して、連携・協働する教職員

2. 本年度の取り組みの重点

（1）学びづくり…（知）確かな学力の育成

- 「主体的・対話的で深い学び」に取り組む。
 - ・基礎・基本の力を培い、自ら進んで学びに取り組む授業を創造する。
 - ・授業改善を通して、思考力・判断力・表現力を育む。
 - ・地域の教育力を活かした体験学習の充実を図る。
- 自主的に学ぶ態度を育成する。
 - ・学びの約束（基本的な学習規律）を徹底させる。
 - ・保護者と連携し、家庭学習の習慣化を図る。
 - ・読書習慣の定着を図る。
- 基礎的・基本的な知識・技能（読み・書き・計算）の定着を図る。
 - ・学習タイムやチャレンジタイムを効果的に活用する。
 - ・新学習システム教員と連携し、少人数学習の充実を図る。
 - ・放課後学習教室の充実を図る。

（２）心づくり…（徳）豊かな心の育成

○自分も人も大切にする心を育む。

- ・すべての命を大切にする。
- ・思いやりのある言動ができる児童を育む。
- ・規範意識の醸成を図り、互いに認め合える集団をつくる。

○一人ひとりを大切にする教育の充実を図る。

- ・「育てる」を基本とした児童理解・指導に努め、人権意識の向上を図る。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心に、支援の必要な児童の実態把握に努め、個に応じたきめ細やかな特別支援教育を推進する。

○道徳教育・人権教育の充実を図る。

- ・道徳的価値を高め、「考え・議論する道徳」の授業づくりを推進する。
- ・自尊感情、自己肯定感、自己有用感を育む教育を推進する。
- ・いじめ防止、自殺防止、情報モラルの指導の充実を図る。

（３）体づくり…（体）健やかな体の育成

○児童一人ひとりの基礎体力の向上と安全教育の充実に取り組む。

- ・授業や各種行事を通して、進んで運動する態度を育む。
- ・登下校や日常生活における安全意識の高揚を図る。

○保護者と連携し、健康な体をつくる生活習慣の確立をめざす。

- ・主体的に食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた健康な生活を送るための健康教育の充実を図る。
- ・食育を組織的・計画的・継続的に、教育活動全体を通して取り組む。

（４）仲間づくり…社会性の育成

○社会に生きるための良い習慣を育む。

- ・善悪の判断ができる心を育む。
- ・進んであいさつや清掃ができる態度を育む。

○自治の力を育む。

- ・自ら考え、行動する力を育む。
- ・高学年が手本となり、リーダー性を育む。

○地域に誇りを持ち、社会に参画する基礎を養う。

- ・地域のヒト・モノ・コトに触れる学習を通して、ふるさと教育を推進する。
- ・保護者・地域の教育活動への参画を推進し、連携を深め、子どもの「生きる力」を育む環境づくりを図る。